



【地方議会】情報共有 住民参画 機能強化 3分野ランク TOP300 公開
それぞれ福島町議会、芽室町議会、桐生市議会がトップ

～「議会改革度調査 2019」具体性や地域成果に評価の軸 早稲田大学マニフェスト研究所調べ～

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所（顧問：北川正恭・早大名誉教授）は6月10日、全国の都道府県議会・市区町村議会への調査をもとに「**議会改革度調査 2019**」の**重点3分野のランキング**を発表しました。



従来から設問を大幅に見直し、新たな評価視点を加えたことで、**各分野のTOP30には、前年調査と比べると順位を上げた議会が続出**するなど、**全国各地から特徴的な取り組みを行う議会が次々ランクイン**しています。一方、議会改革を仕組みや制度に入れこむなど体系的に取り組んでいるランキング常連の議会の強さがあらためて現れたランキングになりました。

今年で10回目を迎えた本調査は、取り組みの具体性や質を問う内容に調査設問を大幅に見直しました（そのため、前年結果との単純比較はなじまない点、ご注意ください）。今回の発表では**分野別ランキングを第一弾の発表**とし、各分野を勘案した全体順位「**総合ランキング**」は**第二弾 6/17（水）に発表**します。

≫ 詳細はこちら www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku

▽**重点3分野のTOP5**

※TOP5以下の議会や、詳細は次ページ以降に記載しています

情報共有ランキング TOP5	住民参画ランキング TOP5	機能強化ランキング TOP5
1位 北海道 福島町議会	1位 北海道 芽室町議会	1位 群馬県 桐生市議会
2位 北海道 芽室町議会	2位 京都府 精華町議会	2位 岩手県 奥州市議会
3位 兵庫県 西脇市議会	3位 東京都 町田市議会	3位 三重県 四日市市議会
4位 東京都 町田市議会	4位 宮崎県 日向市議会	4位 兵庫県 西脇市議会
5位 山口県 山陽小野田市議会	5位 愛知県 岩倉市議会	5位 東京都 多摩市議会
		5位 大阪府 堺市議会

▼**議会改革度調査 2019** について

【調査概要】2020年2月下旬からオンライン調査により各議会事務局へ依頼。都道府県議会・市区町村議会 1,788 議会のうち、1,433 議会（80%）から回答があった。今年で10回目の調査。

≫ 調査の概要や設問変更の意図など、詳細はこちら www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku

☆今後、「議会改革度調査 2019」の新たな情報は下記早大マニ研 HP で随時公開していきます。

＜お問合せ先＞ 早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革調査部会 担当：長内、青木
TEL：03-6214-1315 e-Mail: mani@maniken.jp HP: www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku

「情報共有」ランキング TOP30 ※TOP300 はウェブサイトに掲載

1位 北海道 福島町議会	12位 東京都 多摩市議会	23位 鳥取県 米子市議会
2位 北海道 芽室町議会	12位 東京都 東村山市議会	23位 三重県 鳥羽市議会
3位 兵庫県 西脇市議会	12位 東京都 調布市議会	25位 新潟県 柏崎市議会
4位 東京都 町田市議会	15位 大阪府 箕面市議会	25位 東京都 小金井市議会
5位 山口県 山陽小野田市議会	16位 三重県 四日市市議会	27位 岩手県 久慈市議会
6位 神奈川県 箱根町議会	16位 京都府 京都市会	27位 東京都 国立市議会
7位 大阪府 堺市議会	18位 京都府 亀岡市議会	29位 大阪府 大阪府議会
8位 神奈川県 神奈川県議会	18位 山口県 下関市議会	29位 福岡県 飯塚市議会
9位 東京都 墨田区議会	20位 石川県 加賀市議会	
9位 神奈川県 相模原市議会	20位 栃木県 矢板市議会	
9位 千葉県 流山市議会	20位 神奈川県 横浜市会	

※調査設問を大幅に見直したため、前年結果との単純比較はせず、順位の上下は表記しません。ご了承ください。

■全体傾向

- ・ 「情報共有」分野では、事務局職員数や議会費の規模が大きい議会など人的・財政的に力がある議会が有利と思われる中、北海道の町議会によるワン・ツーフィニッシュという結果でした。
- ・ 今回、設問の大幅見直しにより、議会情報の公開をどれだけ進めたかという「量的な公開度合い」を評価する以外にも、住民へ共有する情報の「質」や情報を得ることができる「時間」を重要な要素として調査の設問に落とし込んでいます。
- ・ ここでは、「本会議・委員会の記録物」といった過去の情報を量的に充実させるだけでなく、議員が議会のなかで得ている情報と同じように住民も情報が得られるかどうか重要となっています。

■第1位 福島町議会の特徴

- ・ 議会として、議員個々の政策や、実現状況の自己評価を積極的に住民へ提供しています。これは「議員の活動を評価できる情報を提供する」とした福島町議会基本条例に沿った議会活動そのものです。
- ・ 議会・議員の政策立案機能の重要性が増していること、さらには議員選挙における投票率、無投票、なり手不足が問題とされていることから、議会組織としての発信は評価すべき点です。

■第2位 芽室町議会の特徴

- ・ 議員でなければ得られにくい情報も、住民がリアルタイムで得られる工夫をしています。会議に使われる議案や協議資料、行政視察の計画検討や成果分析などの提供のほか、会議後の資料や行政視察後の報告書といった過去物のものだけでなく、現在や未来の情報を積極的に発信しています。

■第5位 山陽小野田市議会の特徴

- ・ 本会議、委員会、協議等の場（全員協議会）の全てにわたって議事録、会議映像、会議資料がネット公開されているだけでなく、一般質問後には各質問者がその論点をまとめて公開するなど、議会における論点情報を簡単に得られる点が評価できます。

「住民参画」ランキング TOP30 ※TOP300 はウェブサイトに掲載

■全体傾向

- ・ 「住民参画」の分野では、「情報共有」でも2位だった芽室町議会が第1位、さらに前年から大幅に上ランクアップした精華町議会がこれに続き、こちらも町議会が1位、2位を占めました。
- ・ 議会報告会や意見交換会の開催回数や参加者数といった「議場外」の取り組みへの「量的な評価」に加えて、議案や請願を審議する場（議場内の取り組み）にも住民が参画できているかをみています。ま

た、従来の議会報告会に限らず、「政策サポーター」「市民フォーラム」「シティズンシップ推進活動」など、議会への多様な参画機会・参加者層を確保しているかについて評価の視点に加えています。

- ・ さらに、「市民参画を踏まえて議会活動へフィードバックがなされているか」も大切な視点としています。これは、市民起点の議会活動を展開するために目的をもって市民参画を図っているか、さらに言えば、市民の意見を聞いただけで終わらせていないか、と言い換えることもできます。

■第1位 芽室町議会と第2位 精華町議会の特徴

- ・ **多様な参画機会・参加者層の確保**に加え、メール・SNS等を通して直接参画できなくても間接的に意見や考えを述べる機会が充実している点で芽室町議会の評価が上回りました。

■第3位 町田市議会の特徴

- ・ 全国有数の請願・陳情の提出数があると言われる町田市議会は、請願審議への住民参画が盛んに行われていることをはじめ、議会としてシティズンシップ活動にも積極的に取り組んでいる点が評価できます。
- ・ 「住民参画」は、「住民や地域が抱えている問題を議会と情報共有ができているか」という、住民側から見れば「情報共有」の一面性を持っています。そうした意味では「情報共有」と「住民参加」のどちらでも上位にランクインしている芽室町議会、町田市議会は高い評価ができます。

■第7位 西脇市議会の特徴

- ・ 「議会と語ろう会」を年間40自治会で開催し数百人規模の参加者があります。さらに住民や地域で企画主催する会合にも逆に議会側から出向いていくなど、住民との積極的な対話姿勢が評価できます。
- ・ さらに「住民意見を確実に政策立案につなげよう」と委員会調査活動や一般質問など議会活動へのフィードバックがされており、住民参画が西脇市議会の活力になっていることが伺えます。

▽「住民参画」ランキング TOP30

※順位の上下は表記しません。ご了承ください。

1位 北海道 芽室町議会	11位 岐阜県 可児市議会	23位 広島県 呉市議会
2位 京都府 精華町議会	11位 宮城県 気仙沼市議会	23位 埼玉県 三芳町議会
3位 東京都 町田市議会	13位 東京都 多摩市議会	25位 滋賀県 彦根市議会
4位 宮城県 日向市議会	13位 岩手県 一関市議会	25位 長野県 宮田村議会
5位 愛知県 岩倉市議会	15位 新潟県 上越市議会	27位 群馬県 桐生市議会
6位 長野県 豊丘村議会	15位 宮城県 大崎市議会	27位 岩手県 奥州市議会
7位 兵庫県 西脇市議会	17位 兵庫県 加東市議会	29位 秋田県 横手市議会
7位 京都府 京丹後市議会	18位 長野県 南箕輪村議会	29位 兵庫県 丹波市議会
9位 福島県 会津若松市議会	18位 福井県 坂井市議会	29位 佐賀県 佐賀市議会
9位 北海道 幕別町議会	20位 岩手県 久慈市議会	29位 北海道 白老町議会
	20位 埼玉県 所沢市議会	
	20位 長野県 軽井沢町議会	

「議会機能強化」ランキング TOP30

※TOP300はウェブサイトに掲載

■全体傾向

- ・ 「議会機能強化」の分野では、上位3議会にいずれも一般市がランクインしました。特に、奥州市議会は前年と比べ大きく順位を上げ、今回変更した評価視点への充実した取り組みを物語っています。
- ・ ここでは、議会活動・議会運営を向上させる手段・要件としての議会基本条例、ICT活用、通年議会、議会事務局、議会図書室、外部連携に関する取り組みといった「形式的な整備」の面と、議員間討議や委員会調査活動といった根拠・根幹部分の「質的な充実」の面の2つに分けて考えています。

■第1位 桐生市議会の特徴

- ・ 上述した形式整備と質的充実の両面にわたって取り組みを進めている点にあります。**委員会調査活動を充実させることで、政策的条例の新規制定や見直し改正に繋げている**ほか、そうした委員会活動の評価・検証、さらに議会活動全体の評価・検証、議会基本条例の評価・検証も行いながら、**あらゆる場面に「議会PDCAサイクル」を意識している**点が評価できます。

■第2位 奥州市議会の特徴

- ・ 完全タブレット化による審議のほか、あらゆる場面でICT活用を取り入れることで議員間の情報共有を高めています。そのため議案の附帯決議が7本、このほか市長に議案撤回させるなど、**議員間の情報共有の高さが議会意思の高まりに繋がっている**点が評価できます。また、議会事務局職員（正規）を増員するなど積極的に強化を図ろうとしていることが推測できます。
- ・ なお、芽室町議会、西脇市議会、町田市議会などは、「情報共有」「住民参画」「議会機能強化」の**全ての分野で上位ランクイン**しており、総合的にも評価が高いと言えます。

■第3位 四日市市議会の特徴

- ・ **議員間討議について、議案審議では当局質疑の前後どちらでも行っている**ほか、**議員一人が申出れば直ぐ討議に入れる**など、議会の根幹である**議員同士で話し合うということにおいて群を抜いています**。

▽「議会機能強化」ランキング TOP30 ※順位の上下は表記しません。ご了承ください。

1位 群馬県 桐生市議会	11位 愛知県 瀬戸市議会	21位 北海道 芽室町議会
2位 岩手県 奥州市議会	12位 兵庫県 兵庫県議会	21位 秋田県 横手市議会
3位 三重県 四日市市議会	13位 福島県 会津若松市議会	23位 神奈川県 川崎市議会
4位 兵庫県 西脇市議会	14位 岡山県 鏡野町議会	24位 京都府 精華町議会
5位 東京都 多摩市議会	15位 宮城県 柴田町議会	25位 長野県 飯島町議会
5位 大阪府 堺市議会	16位 三重県 伊賀市議会	26位 滋賀県 近江八幡市議会
7位 石川県 加賀市議会	17位 東京都 町田市議会	27位 三重県 いなべ市議会
8位 沖縄県 那覇市議会	18位 愛知県 名古屋市会	28位 岩手県 久慈市議会
9位 京都府 京都市会	19位 北海道 福島町議会	29位 岡山県 新見市議会
10位 滋賀県 大津市議会	20位 兵庫県 朝来市議会	30位 大阪府 大阪府議会

▼議会改革度調査 2019 について >> 詳細はこちら www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku

【調査概要】2020年2月下旬からオンライン調査により各議会事務局へ依頼。都道府県議会・市区町村議会1,788議会のうち、1,433議会（80%）から回答いただきました。

【調査目的】次の4つを目的として実施しています。

- (1) 全国で議会改革の取り組みがどのような状況や傾向にあるか把握する。
- (2) 全国の状況や傾向について調査を踏まえ、各議会における取り組み度合いを数値化し、各議会が取り組みの見直しや推進を図る際の客観的指標を示す。
- (3) 数値化したものをランキング化し一般公表することで、議会から議会への取り組み波及や、議会同士の切磋琢磨による取り組み進化を生む「善政競争」を促す。
- (4) 議会改革の方向性を定め、次なる課題・ステージを提示する。

☆今後、「議会改革度調査 2019」の新たな情報は下記早大マニ研 HP で随時公開していきます。

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革調査部会 担当：長内、青木
TEL：03-6214-1315 e-Mail：mani@maniken.jp HP：www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku